

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	独立行政法人海洋研究開発機構施設整備に必要な経費		担当部局庁	研究開発局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度～		担当課室	海洋地球課		海洋地球課長 井上 諭一	
会計区分	一般会計		施策名	X-3 環境・海洋分野の研究開発の重点的推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人海洋研究開発機構法第17条		関係する計画、通知等	海洋基本計画(平成20年3月 閣議決定)等			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平和と福祉の理念に基づき、海洋に関する基盤的研究開発、海洋に関する学術研究に関する協力等の業務を総合的に行うことにより、海洋科学技術の水準の向上を図るとともに、学術研究の発展に資するため、独立行政法人海洋研究開発機構の設置する施設の整備充実を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	機構の業務を遂行するために必要な施設の整備業務として、海洋に関する研究開発、海洋に関する学術研究に関する協力等の業務を総合的に行うため、施設の整備や老朽化対策を実施する。(補助率:100%)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予 算 の 状 況	当初予算	230	230	106	117	603
		補正予算	0	21	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	230	251	106	117	603
	執行額	230	251	106			
執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	成果指標:独立行政法人評価委員会による評価結果(海洋研究開発機構の行う事業は中期計画および年度計画により定性的、定量的な目標を定めており、毎年度、独立行政法人評価委員会による達成度の評価を受けているため、これをもって成果実績とする。なお、評価は評価項目ごとに実施されており、本事業は項目「Ⅶその他、主務省令で定める業務運営に関する重要事項」に含まれる。)		成果実績	— (達成度100%以上)	B評価 (達成度70~100%)	A評価 (達成度100%以上)	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	施設設備の整備 実施件数		活動実績 (当初見込み)	件	16	12	6 (-)
単位当たりコスト	17.7 (百万円/件)		算出根拠	平成22年度執行額(106百万円)/施設整備の整備実施件数(6件)			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	独立行政法人海洋研究開発機構施設整備費	117百万円	603百万円	東日本大震災からの復興基本方針に基づく施設整備に伴う増 【東日本大震災復興関連事業 要求額490百万円】			
	計	117百万円	603百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成21年度の行政事業レビューの指摘を踏まえ、契約の競争性、公平性、透明性の確保については、平成22年4月に「随意契約等見直し計画」を策定し、一層の適正化に努めている。競争参加条件については、仕様書において過度の要件をかけないようにする等の取り組みを行ってきたところであり、一般競争入札の公告に関しては、「入札参加者心得」をホームページに掲示し、機構における契約や入札条件を広く公表するとともに、新規参入者を増やす取り組みを行った。さらに、研究開発等の特性に応じた調達の手続きについて、他の研究開発法人と協力してベストプラクティスの抽出に向けた検討を行っている。整備内容については老朽化した施設、設備の改修等、優先度の高い案件から実施している。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、海洋に関する基盤的研究開発、海洋に関する学術研究に関する協力等に取り組む海洋研究開発機構の施設・設備の整備に必要な施設整備費補助金を支出するものである。</p> <p>2. 所見：中期目標・中期計画に掲げられた計画に従って着実に措置すべきである。ただし、昨年の他事業に対する公開プロセスでの指摘等を踏まえ、引き続き、予算の硬直化を防ぐため、後年度負担も念頭に整備内容を精査することにより、事業の効率化を一層進めるべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
当該事業については後年度負担も考慮するとともに、整備内容を精査して計画を策定し、当該計画に基づき着実に事業を実施していくこととする。			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
—			

文部科学省
106百万円※

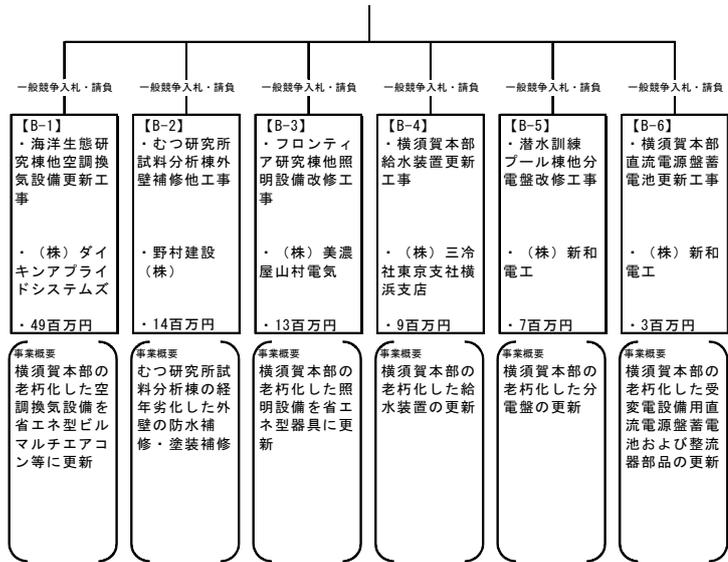
事業概要
独立行政法人海洋研究開発機構の研究施設
に要する経費に対する補助



〔補助〕

【A】独立行政法人海洋研究開発機構施設整備費補助金
95百万円※

機構の業務を遂行するために必要な施設の
整備業務



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

※国の支出は概算払であり、法人において契約差額が生じたため、文部科学省における執行額と法人における執行額は一致しない。

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(独)海洋研究開発機構			B-4.(株)三冷社東京支社横浜支店		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	老朽化対策工事	95	工事	横須賀本部給水装置更新工事	9
計		95	計		9
B-1.(株)ダイキンアプライドシステムズ			B-5.(株)新和電工		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	海洋生態研究棟他空調換気設備更新工事	49	工事	潜水訓練プール棟他分電盤改修工事	7
計		49	計		7
B-2.野村建設(株)			B-6.(株)新和電工		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	むつ研究所試料分析棟外壁補修他工事	14	工事	横須賀本部直流電源盤蓄電池更新工事	3
計		14	計		3
B-3.(株)美濃屋山村電気					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	フロンティア研究棟他照明設備改修工事	13			
計		13	計		0

支出先上位10者リスト

B.(B-1~B-6)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ダイキンアプライドシステムズ	横須賀本部の老朽化した空調換気設備を省エネ型ビルマルチエアコン等に更新	49	8	※
2	野村建設(株)	むつ研究所試料分析棟の経年劣化した外壁の防水補修・塗装補修	14	4	※
3	(株)美濃屋山村電気	横須賀本部の老朽化した照明設備を省エネ型器具に更新	13	10	※
4	(株)三冷社東京支社横浜支店	横須賀本部の老朽化した給水装置の更新	9	7	※
5	(株)新和電工	横須賀本部の老朽化した分電盤の更新	7	11	※
6	(株)新和電工	横須賀本部の老朽化した受変電設備用直流電源盤蓄電池および整流器部品の更新	3	7	※

※同種の他の契約の予定価格を類推させるおそれがあるため非公表としている。